



この機会を通して、白紙から想像を膨らませ、表現を凝らす。応募作品の中から選考された受賞作品は、本誌に掲載させていただきます。応募作品は当協会HPでご覧いただけます。

●入賞作品は8月末にHP等で発表します。

今こそ、人の心に必要な芸術・文化活動を。

みんなでひとりキャンペーン実行委員会 副会長 水内 知子
(NPO法人 芸術文化 若い芽を育てる会 理事長)

私たちの会は、海峡文化都市である下関を拠点とし、世界に羽ばたく有望な芸術・文化に関わる若人を応援する活動を続けて11年になるNPO法人です。地元下関はじめ全国から多くの応援をいただいております。皆様方に厚く御礼申し上げます。誰もが経験したことのない新型コロナウイルス感染症で生活が一変しています。今こそ、人の



心に必要な芸術・文化活動は、大きな影響を受けています。当法人活動10年の集大成としての「若い芽芸術祭」開催が、1年延期となりました。また、今年度の光原石発掘の審査会も、多くの応募者があったにも関わらず中止となりました。若い芽を育てる会・下関の地との繋がりを感じ、芸術・文化を追求する歩みを止めず乗り越えていって欲しいとの思いで、応募者全員に応援金をお渡しいたしました。

このような状況の中、下関では、まちの幸せ、未来を考えるためにSTAYHOMEプロジェクトが動き始めています。この度「みんなでひとりキャンペーン」に当法人が協力させていただけることとなりました。下関のメディアと連携して、デジタル空間でのアーティストのつながる想いの詰まったエキサイティングな取り組みを、世界中の方々にお届けしたいと思っております。近い将来、ライブで文化・芸術を体験できる時には、アーティストと観客に、更なる感動が待っていることと思っております。

「ひとりだけど一人じゃない」を、つよく心に刻んで、毎日が少しでも生きやすくなることを願っています。



ひとり一人で育ててみよう。

お家で花いっぱい

身近な場所に新たな希望が芽生え、いつかそれが花開くことを願い、市内全校児童(12,300名)に花苗(ポーチュラカ、マリーゴールド)とプランターを贈りました。

思い思いにペイントされたオリジナルプランターに笑顔が咲きました！



ひとりだけどひとりじゃない。

しものせき STAY HOME プロジェクト

みんなでひとり キャンペーン

いま、ひとり一人ではじめよう。

今だからはじめてみよう。ひとり一人のできること。

今だから見つけよう。ひとり一人の大切なこと。

今だから考えてみよう。みんなのまちのみんなの未来。

(一財)下関21世紀協会は今夏、「関門海峡花火大会」の中止を決断しました。私たちは考えました。この事業の目的が、市民のふるさとを誇りに思うところを育み、その思いを次世代に繋いでいくことであるなら、立ち止まることなく形を変え、その意思を表わすべきだ、と。世界的なコロナ禍により、私たちをとりまく世界の多くが縮小、減衰していくなかで、『新たななにかをはじめる、なにかを生み出す』という未来へと続く行動の機会を提供し、いつか将来、この時代が『あの時にこれと出会えた』、そして『いかなる時でも地域という共同体はたしかに息づいていた』、という幸福な記憶となることを私たちは願います。

